

SEKISUI

セキスイ自動風呂電気温水器 取扱説明書



AUSシリーズ

時間帯別電灯／深夜電力（通電制御）切替式

形名 マイコン節電タイプ(防雨形)・高圧力型
AUS-37M1K・AUS-46M1K・AUS-56M1K

※ご使用前にお買いあげいただきました温水器の形名をおたしかめください。

- *このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- *この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- *お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- *施工説明書を、販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- *保証書は必ずお受け取りください。
- *お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません

高圧力型電気温水器とは

平成10年12月に『労働安全衛生法施行令』が改正され、小型ボイラーの規制が見直されたことにより、今までの電気温水器・最高使用水圧が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより2階への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には改正に伴い諸条件が義務付けられています。詳しくは32から33ページをご覧ください。

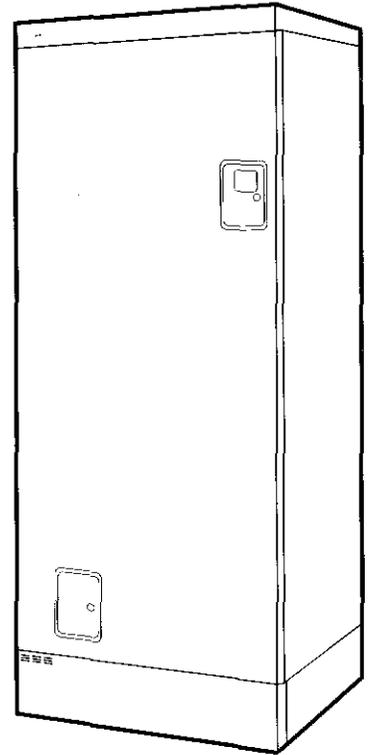
時間帯別料金対応型とは

時間帯別料金制度に対応したもので、本体内に時計機能を内蔵しており、電気料金の安い夜間時間にお湯を沸かすようになっています。また、お湯がたりない場合には、昼間時間にもお湯を沸かす「沸増し」機能がついています。

時間帯別料金制度とは

電気料金を昼間時間と、夜間時間の2つの時間帯に分けて電気料金を算出する料金制度です。昼間時間の電気料金単価は、一般の従量電灯の料金単価に比べ割高になっていますが、夜間時間の電気料金単価は深夜電力料金単価は深夜電力料金と同水準で割安になっています。

- この電気温水器は、通電制御による特別割引料金の適用を受けられます。適用に当っては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、適用機種にはそれぞれ、右記のシールが貼り付けてあります。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	5
使いかた	9
凍結防止について	25
長期間お使いにならないとき	25
安全点検・お手入れのしかた	26
定期点検のおすすめ	28
エラーの表示と処理のしかた	29
エラー解除のしかた	30
このようなときには	31
事業者様へのご案内	32
仕様	34
保証とアフターサービス	35



安全上のご注意

- ご使用になる前にこの『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
- 表示と意味はつぎのようになっています。

図記号の例

図記号	図記号の意味
 感電注意	△は注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊙は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 アース工事	●は強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事」を示します。

表示	表示の意味
----	-------



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

■据付前の注意事項

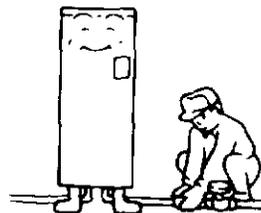
警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買いあげの販売店または工事店に依頼すること

ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。



専門業者



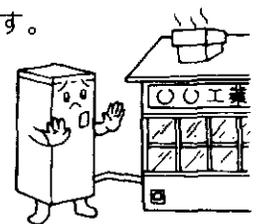
警告

業務用・改造後の使用はしないこと

業務用に使用しないでください。
事故・故障の原因となります。
安全点検を行ってください。



家庭用



アース棒など、別売り部品もセキスイ品を使用すること

純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。



純正部品



注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用すること

適合しないと故障・水漏れの原因になります。



上水道



■据付後の確認事項

⚠警告

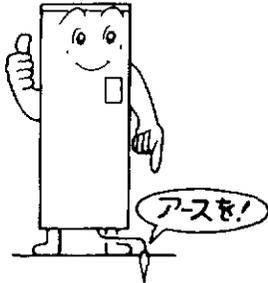
アース工事がされているか確認すること

故障や漏電のときに感電の原因になります。

アースの取り付けは販売店にご相談ください。



アース工事



温水器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認すること

発火の原因になります。



施工確認



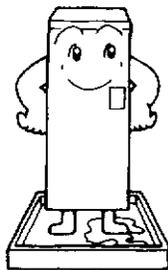
⚠注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること

水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。



施工確認

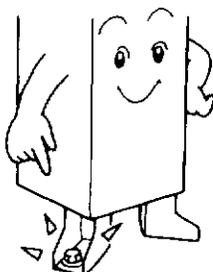


脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

本体が倒れてけがをすることがあります。



施工確認



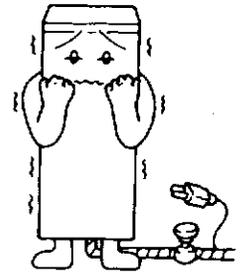
⚠注意

凍結防止対策を確認すること

配管が破損してやけどをすることがあります。



施工確認



温水器・メインリモコンが浴室など湿気の多いところに取り付けられていないことを確認すること

火災・感電の原因になります



禁止

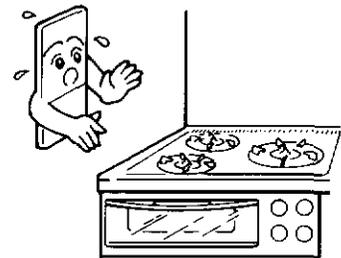


リモコンは、直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取付けられていないことを確認すること

変色、変形、火災の原因になります。



禁止



■使用上の注意事項

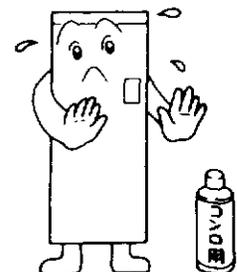
⚠警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火の原因になります。



禁止

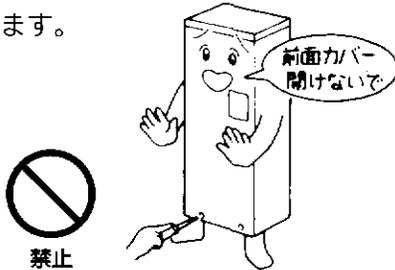


安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

前面カバーは開けないこと

感電の原因になります。



給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

- ・給湯せんを開いた直後は水がでますが、すぐに熱湯に変わります。
- ・シャワーを使う場合、最初に熱いお湯がでることがあります。いきなり頭や体にかげず湯温を十分確認してから行って下さい。



給湯時は給湯せん本体に手を触れないこと。やけどをすることがあります

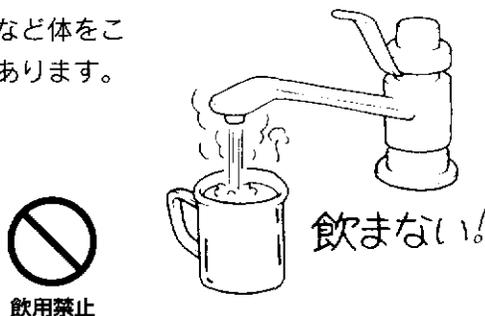
朝、最初に給湯せんを開くときに蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いて下さい。



⚠ 注意

飲用しないこと

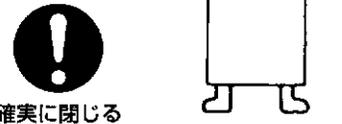
水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。



⚠ 注意

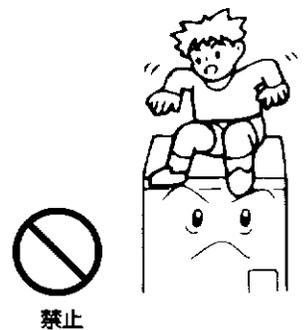
電源ボックスカバーは閉じておくこと

ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後には必ずねじを締めてください。



電気温水器の上に乗ったり、配管に力を加えないこと

本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意してください。

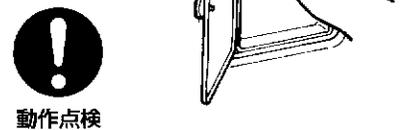


■ 点検・お手入れの注意事項

⚠ 警告

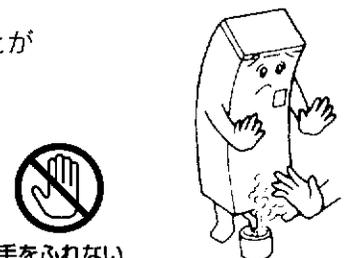
漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。



逃し弁の点検時には逃し弁排水管に手を触れないこと

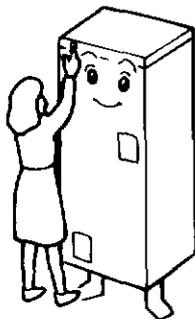
やけどをすることがあります。



⚠ 注意

逃し弁を点検すること

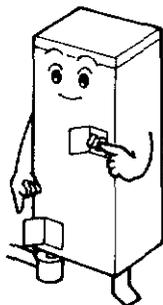
点検しないとタンクや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



動作点検

タンクの熱湯は直接排水しないこと

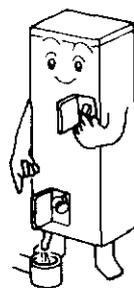
やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。



熱湯排水禁止

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること

水質が変化することがあります。



水抜き

水漏れを点検すること

とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常点検してください。



漏水点検

■ 修理・譲渡等の注意

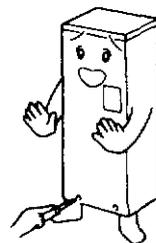
⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造は行わないこと

発火したり異常動作してけがをすることがあります。



分解禁止



⚠ 注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の施工説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください



説明書添付



■ 異常時の注意

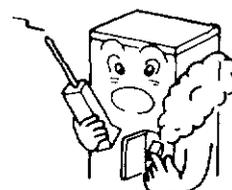
⚠ 警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れ等)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買いあげの販売店またはセキスイの営業所へ連絡すること

異常のまま使用されますと故障や感電、火災の原因になります。



電源を切る



各部のなまえとはたらき

- *電気温水器は深夜の間にお湯を沸かし、タンクに貯めておいて必要なときに利用するものです。
- *アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、電気温水器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子を

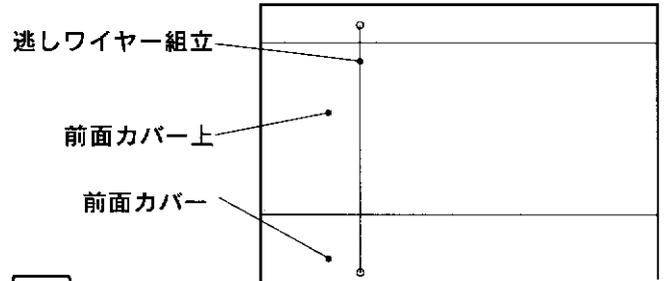
- アース線で接続することにより構成されます。
- *電気温水器本体に「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

外観および内部構造

別売部品および現場施工部品を組込んだイラストになっています。

※このイラストは370L・460Lタイプで説明しています。

560Lタイプ



※これ以外は下図をご覧ください。

逃し弁ワイヤー

逃し弁の動作を確認するときに2~3回手前にかるく引きます。

逃し弁

高圧力型：170kPa

※逃し弁は消耗部品です。定期的な交換が必要です。交換時期は、水質によって異なりますので販売店にご相談ください。

タンク

ヒーター

過圧防止弁排水ホース

高圧力型は圧力センサーが付いており異常時にはリモコンでお知らせし、タンク沸き上げを停止します。

排水点検扉

この中に排水せん、非常用取水コックが入っています。

給水

専用止水せん

排水せん

非常用取水コック（飲用はできません）

非常の際にはこのコックよりタンクの水を取り出して非常用水として利用します。利用のしかたは本体ラベルをご覧ください。

前面カバー

電源ボックスカバー

この中に漏電遮断器が2個入っています。560Lは漏電遮断機が3個入っています。

流量センサー

減圧弁

高圧力型：150kPa

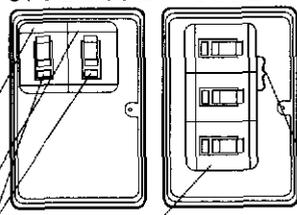
※減圧弁は消耗部品です。定期的な交換が必要です。交換時期は水質によって異なりますので販売店にご相談ください。

安全上のご注意ラベル

電源ボックスカバー内部

370L・460L 560L

タンク沸上用漏電遮断器
 ふる用・制御用漏電遮断器
 テストボタン



タンク沸上用
漏電遮断器
 ふる用・制御用漏電遮断器

安全上のご注意ラベルについて

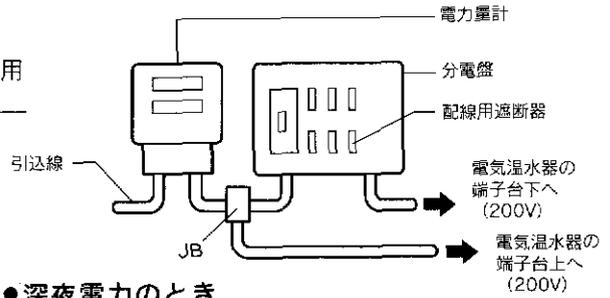
特に重要と考えられる事項について「安全上のご注意ラベル」に記載してあります。

	警告 この機器を安全に正しく使用していただくために、お読みになる前に付属の「取扱説明書」をよくお読みください。必ずご確認してください。
	雷電の恐れあり - 雷電が直撃しないこと。 - 電源ボックスカバーは閉めておくこと。 - 雷電が直撃しないこと。確認すること。 - 雷電が直撃しないこと。確認すること。
	炎の恐れあり - 湯水の近くにかさねや火物を置かないこと。 - 湯水注意
	ゆけどの恐れあり - 湯水を急激に湯湯を流さないこと。 - 湯水は急激に湯湯を流さないこと。 - 湯水は急激に湯湯を流さないこと。 - 湯水は急激に湯湯を流さないこと。
	雷電・火災の恐れあり - 雷電（こげ臭いなど）は漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買い上げの販売店またはお買い上げの販売店へご連絡ください。
	注意 - 湯水に必ずお気を付けください。 - 長期使用により、タンク内に水垢がたまったり、配管材料の劣化などにより、水質が変わることがあります。お買い上げの販売店へお問い合わせください。

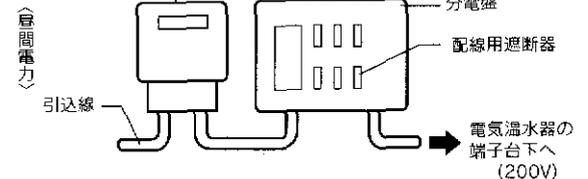
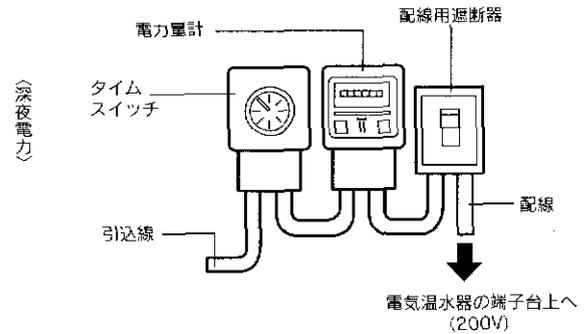
お願い
 本体のラベルが剥がれてなくなったり、文字が消えて読めなくなった場合には、ラベルを販売店から購入し、元の位置に貼ってください。

標準引込み配線

●時間帯別電灯のとき



●深夜電力のとき

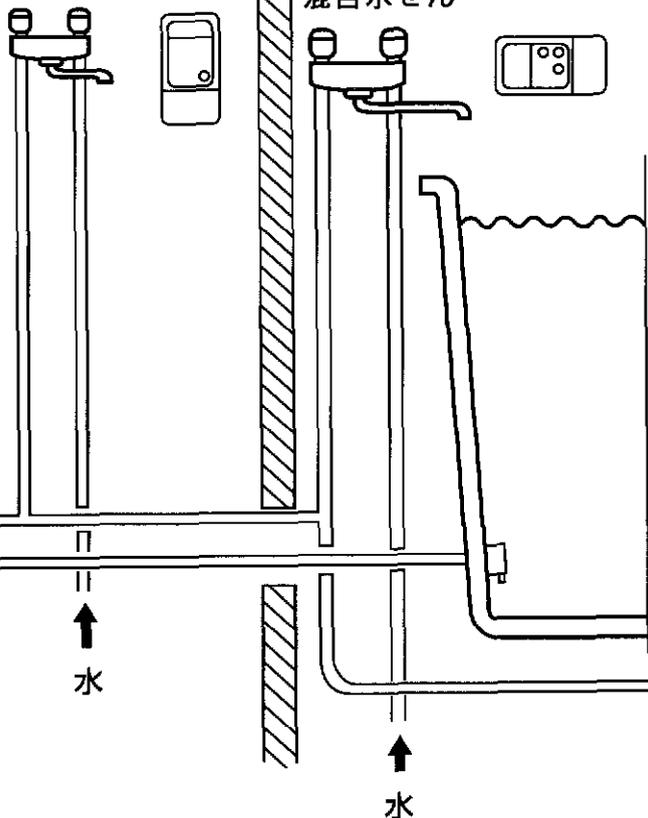


各部のなまえとはたらしき

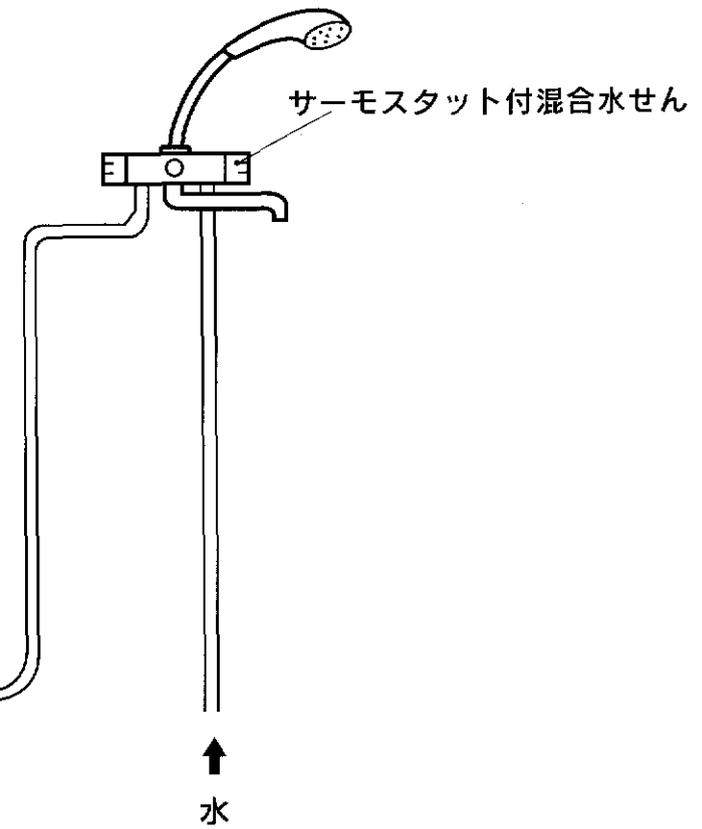
水せんは湯水混合水せんを使用することをお勧めします。特に浴室ではサーモスタット付混合水せん等の使用をお勧めします。

キッチン・洗面所等混合水せん

落とし込み用混合水せん



サーモスタット付混合水せん



各部のなまえとはたらき (つづき)

メインリモコン

- イラストはフタが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。

優先表示

メインリモコンが優先のときに表示します。

沸き上げ中表示

タンクのヒーターに通電が開始されると表示します。

電源表示

制御電源が入ると表示します。

デジタル表示

給湯温度・タンク内湯温を表示します。

給湯表示

給湯温度が表示されていることを示します。

高温表示

給湯温度が高温であることを示します。

湯温表示

タンク内湯温を表示していることを示します。

残湯量表示

タンク内の残り湯量を4段階で表示します。
(⇒12ページ)

湯温設定表示

タンク内の沸き上げ設定温度を表示します。

「沸き上げ停止」ボタン

タンクの沸き上げを停止する日数を設定するのに使います。
(⇒14ページ)

「湯温切替」ボタン

タンク内の沸き上げ温度を設定するのに使います。
(⇒11ページ)

「沸増し」ボタン

時間帯別電灯でご契約時、昼間の電気でもタンクの沸増しを行うときに使います。
(⇒13ページ)

「湯温表示」ボタン

タンク内に残っている湯の温度を確認するときに使います。
(⇒12ページ)

湯はり予約表示

湯はり予約がされているときに表示します。

湯切れ表示

タンク内の残り湯量が60L未満になると表示します。
また、同時にブザー音でもお知らせします。

エラー表示

エラーが発生した時に表示します。
(⇒29ページ)

停止日数

温水器の沸き上げの停止している時に表示します。
(⇒14ページ)

デジタル表示

現在時刻・沸き上げ停止日数・湯はり予約時間・エラーコードを表示します。

電力制度表示

加入された電力制度を表示します。

沸増し設定表示

時間帯別電灯で契約時「沸増し」設定をしたときに表示します。
(⇒13ページ)

音声スピーカー

ここから音声案内がでます。

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中は点灯します。
「お好み」設定中は点滅します。

「ふろ自動」ボタン

ふろ湯はりを動作・停止します。
(⇒16ページ)

給湯ボタン

給湯温度を設定します。
(30℃～48℃、50℃、60℃)
(⇒20ページ)

「▲▼」ボタン

現在時刻・沸き上げ停止・湯はり予約の設定をする時に使います。

「音量」ボタン

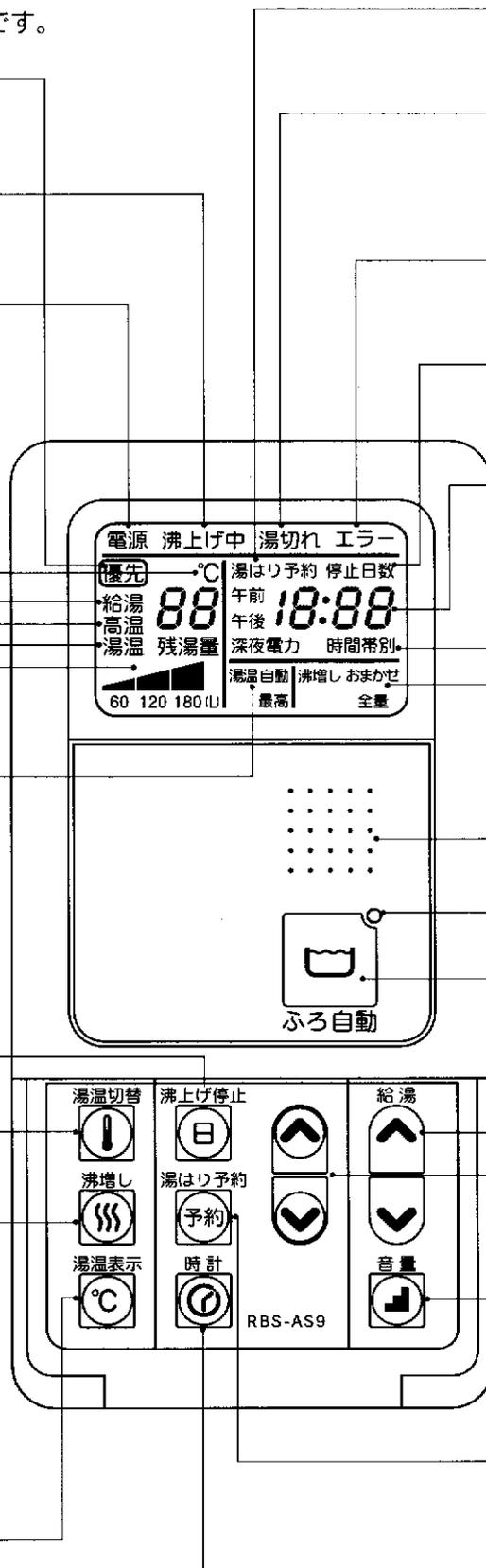
音声の大きさ、ブザーの音の大きさを調整します。
(⇒22ページ)

「湯はり予約」ボタン

自動湯はりの完了時間を設定します。
(⇒15ページ)

「時計」ボタン

現在時刻を合わせる時に使います。
(⇒10ページ)



浴室リモコン

- イラストはフタが開いた状態です。
- 液晶の表示は全表示している状態です。

エラー表示

エラーが発生したときに表示します。
(☞29ページ)

湯はり表示

湯はり温度・湯はり量・高温差し湯温度を表示します。

デジタル表示

現在時刻・エラーコードを表示します。

高温差し湯中表示

高温差し湯中に表示します。

湯はり水位表示

湯量を水位の目安として表示します。

お好み表示

湯はり量が「お好み」設定になっていると表示します。
(☞21ページ)

矢印表示

浴槽に湯が給湯されていると表示します。

優先表示

浴室リモコンが優先のときに表示します。

給湯表示

給湯温度が表示されていることを示します。

高温表示

給湯温度が高温であることを示します。

給湯温度表示

給湯温度を表示します。

シャワー回数表示

シャワーが何回使用できるのを目安を表示します。
(40L/1回)
(☞18ページ)

高温差し湯ランプ

高温差し湯中に点灯します。

「高温差し湯」ボタン

高温差し湯の入切を行います。
(☞18ページ)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中に点灯します。「お好み」設定中は点滅します。

「ふろ自動」ボタン

ふろ自動運転を動作、停止します。
(☞16ページ)

「ふろ湯温」ボタン

湯はりする湯温を設定します。
[35℃～48℃ (1℃刻み)]
(☞17ページ)

「ふろ湯量」ボタン

湯はりする水位を設定します。
(100L～400L、16段階)
(☞17ページ)

「給湯」ボタン

給湯温度を設定します。
(30℃～48℃)
(50℃、60℃)
(☞20ページ)

「差し水」ボタン

差し水(約30℃)の入切を行います。
(☞19ページ)

「洗浄」ボタン

フルオート用です。
(この製品では使用しません。)

「足し湯」ボタン

足し湯の入切を行います。
(☞19ページ)

「優先」ボタン

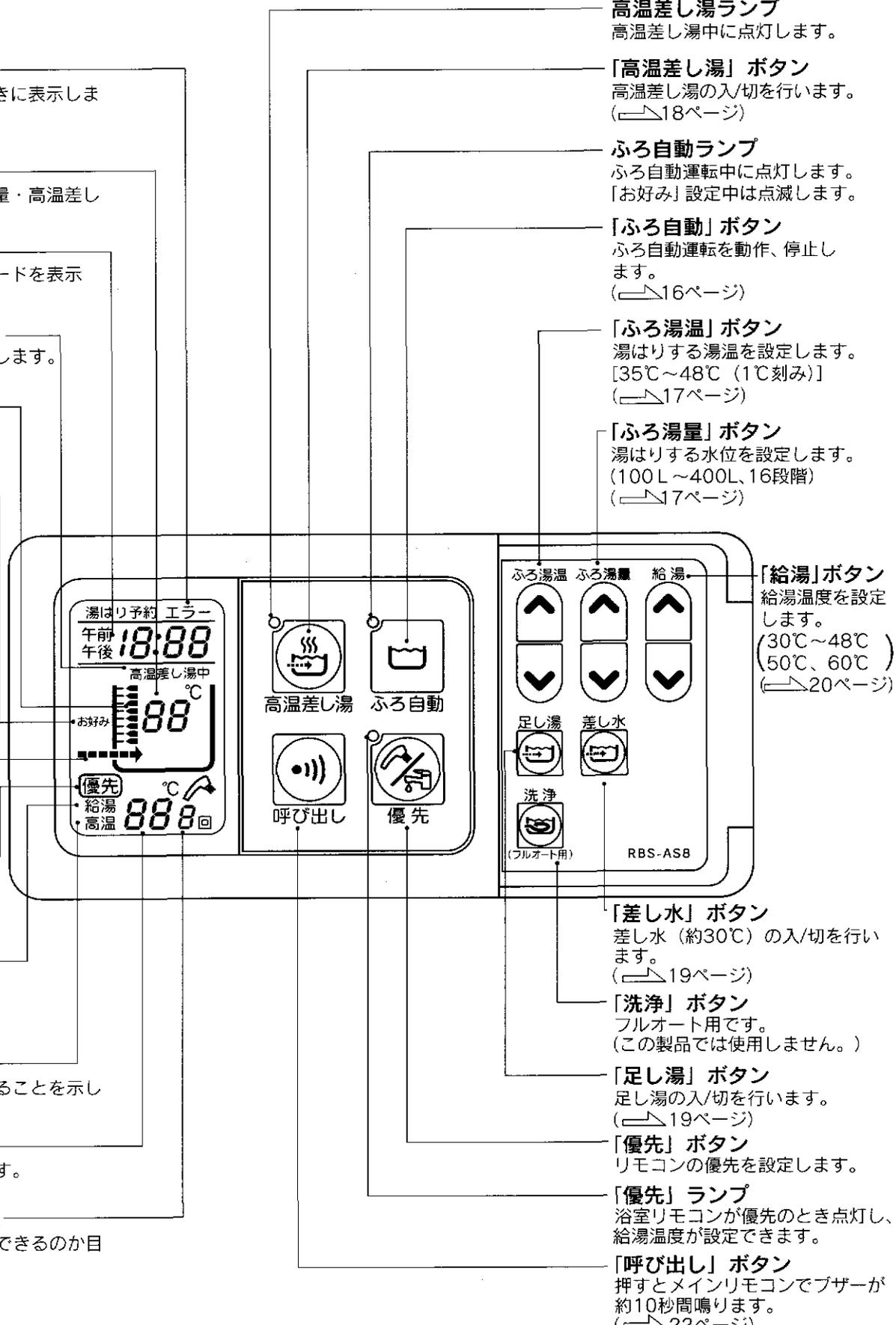
リモコンの優先を設定します。

「優先」ランプ

浴室リモコンが優先のとき点灯し、給湯温度が設定できます。

「呼び出し」ボタン

押すとメインリモコンでブザーが約10秒間鳴ります。
(☞22ページ)



各部のなまえとはたしき

使い方

警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと
発火の原因になります。



禁止

タンクが満水になっていることを確認してから通電すること

- ・満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。
- ・水を入れなくて通電すると故障の原因になります。



禁止

注意

飲用はしないこと

水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。



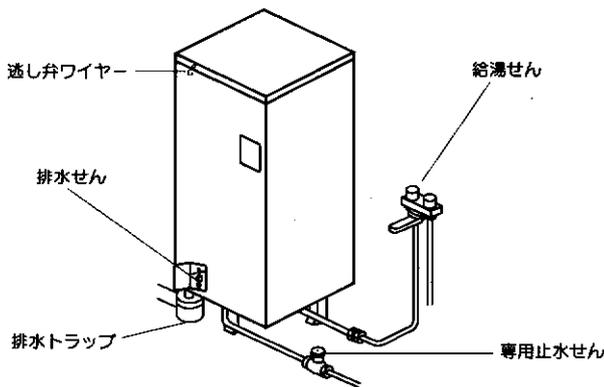
禁止

給水のしかた

最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを洗い流すため、給水したら一度、全部排水し、再び給水してください。

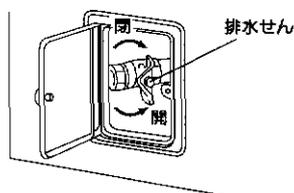
1. 最初の給水のしかた

給湯せん、専用止水せんを開きます。
約20～30分で給湯せんから水が出てきます。



2. 排水のしかた

- (1)専用止水せんを閉じます。
- (2)給湯せん・排水せんを開きます。
- (3)約40分～50分で水が抜けます。(排水できないときは、逃し弁ワイヤーを引いて逃し弁を開けてください。)



3. 再給水のしかた

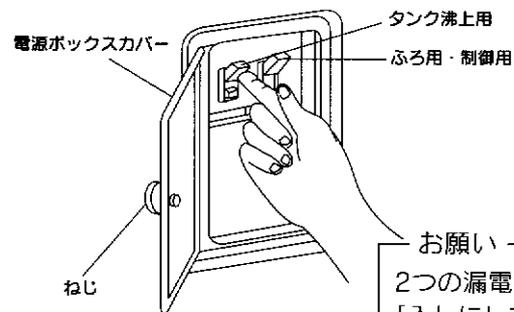
- (1)排水せんを閉じます。
- (2)専用止水せんを開きます。
- (3)給湯せんから水が出てきたら給湯せんを閉じます。

通電(沸上げ)のしかた

通電は、必ず給水をしてから行ってください。

1. 電源の入れかた

- (1)電源ボックスカバーのねじをゆるめてカバーを開けます。
- (2)漏電遮断器のレバーを2つとも必ず「入」にします。(560Lは3つです。)



お願い
2つの漏電遮断器を必ず「入」にしてください。(560Lは3つです。)

- (3)電源ボックスカバーをとじ、ねじを確実に締めます。

2. 現在時刻を合わせます

メインリモコンを使用して現在時刻を合わせます。
(△10ページ)

3. 今夜からお湯を使いたいときは沸増し設定をします

(時間帯別電灯のとき)
メインリモコンの沸増しボタンを押します。
(△13ページ)

現在時刻の合わせかた

※メインリモコンで操作します。

- 時間帯別電灯料金制度で使用する場合には、必ず現在時刻の設定をしてください。設定をしないとお湯を沸かすことができません。
- 誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
- 深夜電力料金制度で使用する場合には、時刻設定する必要はありませんが、設定しておくとう便利です。

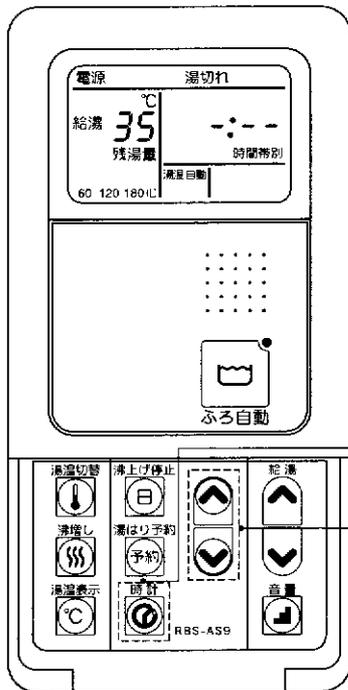
つぎの手順に従って現在時刻を合わせてください。

例) ここでは午後3時45分に合わせることで説明します。

設定手順

1. 漏電遮断器のレバーを2つとも「入」にします(560 Lは3つです)

(左図のように表示されます)



2. 『時計』 ボタンを押します

デジタル表示部に午前12時が表示されて、12が点滅します。



午前 12:00
時間帯別

3. 『▲▼』 ボタンを押して、午後3時に合わせます

『▲』 ボタンを押すと1時間ずつ数字が進みます。『▼』 ボタンを押すと1時間ずつ数字が戻ります。



午後 3:00
時間帯別

4. 『時計』 ボタンを押します

デジタル表示部の00が点滅します。



午後 3:00
時間帯別

5. 『▲▼』 ボタンを押して45分に合わせます

『▲』 ボタンを押すと1分ずつ数字が進みます。『▼』 ボタンを押すと1分ずつ数字が戻ります。



午後 3:45
時間帯別

6. 『時計』 ボタンを押します

ボタンを押すと時刻が決定し、浴室リモコンにも時刻が表示されます。

7. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

メモ

現在時刻を設定されると、浴室リモコンにも自動的に現在時刻が表示されます。

お願い

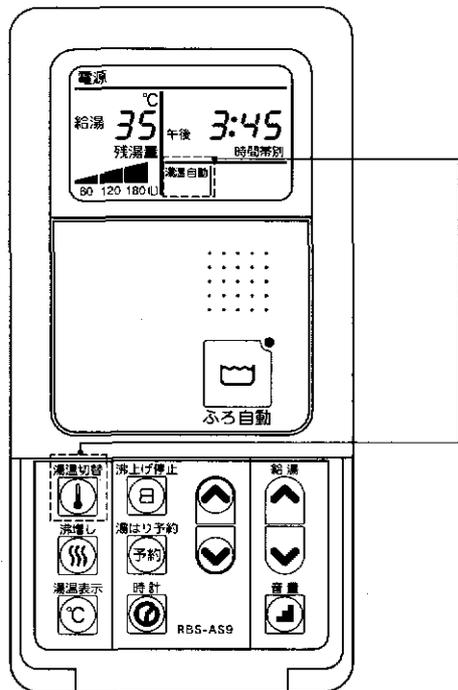
・ 2時間以上の停電があると、現在時刻がリセットされます。この時は、設定手順に従って現在時刻の設定を行ってください。

使
い
か
た

湯温切替のしかた

※メインリモコンで操作します。

- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクの沸上げる温度を2段階に選べます。
- 冬場の水の温度が低いときや、沸上げ中に停電があった場合には設定温度より低い温度に沸き上がります。
- 本体の設定により初期値は「自動」になっています。



設定手順

1. 『湯温切替』ボタンを押します

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

●湯温調節のめやす

自動……約75°C～約90°C

(水の温度に応じて沸き上げる温度が変わります。)

最高……約90°C

(水の温度が15°C未満のときは沸き上がりません。)

夜時間帯になり、タンク沸き上用のヒーターに通電されると『沸上げ中』が表示されます。

タンク沸上げは夜時間帯になってもすぐには通電されないことがあります。

マイコンが自動的に通電を開始するのを遅らせているためで故障ではありません。



メモ

●来客があるときは

前日に湯温切替ボタンを押して「最高」に切り替えておきます。(「自動」のとき)

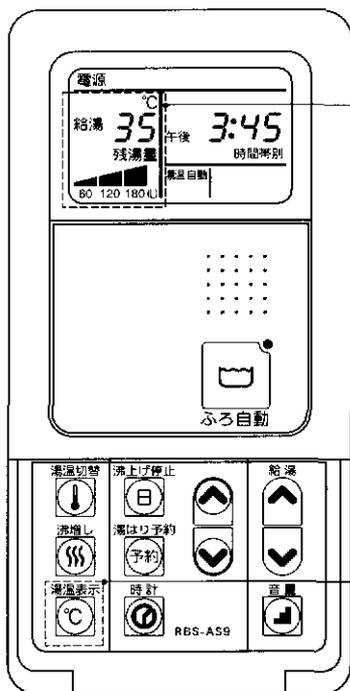


湯温表示のしかた

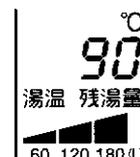
※メインリモコンで操作します。

- タンク内に残っているお湯の温度を確認できます。ただし、給湯せんから出てくる温度とは異なります。
- 表示した後は、約10秒後に自動的に現在時刻に戻ります。

操作手順



1. 『湯温表示』 ボタンを押します
ボタンを押すと約10秒間タンク内の温度が表示されます。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

残湯が少なくなり、タンク沸き上げ用のヒーターに通電されると湯と水が混合され急に消灯することがありますが、異常ではありません。

使
い
か
た

残湯量の見かた

※メインリモコンで表示しています。

- タンク内にお湯があると表示します。表示と表示に対するお湯の残り量は、下記の表の通りです。
- お湯が少なくなると音声とブザーの2段階でお知らせします。残湯が120L未満になると音声で「お湯が少なくなりました」残湯が60L未満になるとブザーでお知らせしますので必要に応じて沸増しを行ってください。(深夜電力料金制度でご使用のときは沸増しできません)

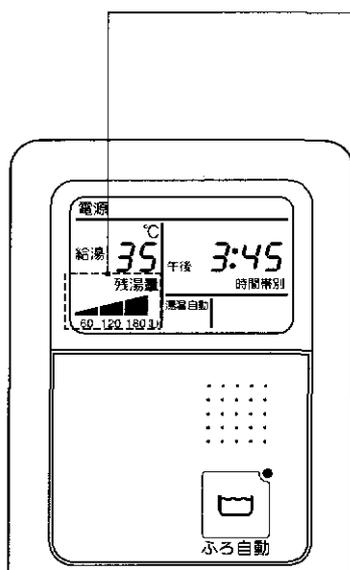


表 示	残 湯 量
	180L以上
	120L以上 180L未満
	60L以上 120L未満
	60L未満

夜9:00~朝9:00
の間は音声を自動
停止します。

[音声でお知らせ]

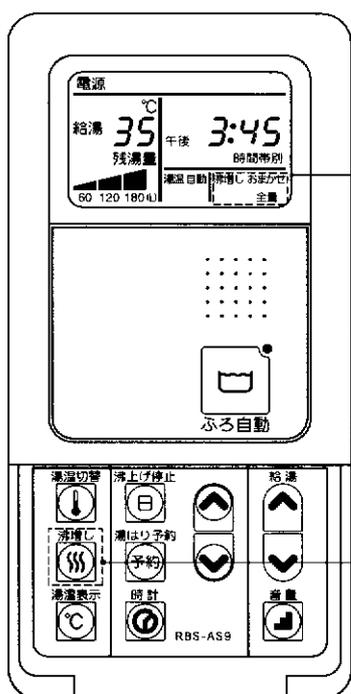
[ブザーでお知らせ]

沸増しのしかた

※メインリモコンで操作します。

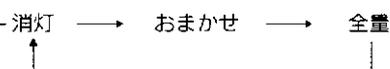
- 『時間帯別電灯』で使用しているときに使用できます。「沸増し」は昼間の電気でお湯を沸かす機能です。
- 深夜電力料金制度でご使用の場合は『沸増し』はできません。
- ご家庭のお湯の使用量に応じて、タンクのお湯の『沸増し』が2段階で選べます。お湯の残り量をめやすに『沸増し』の設定をしてください。
- 来客などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなどあらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぎます。
- 『沸増し』をするとお湯をたっぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
- 現在時刻が設定されていないと『沸増し』はできません。

設定手順



1. 『沸増し』ボタンを押します

ボタンを押すごとに表示が切り替わり沸増しのパターンを変えます。



●沸増しのめやす

おまかせ・・・毎日湯切れの心配をしないでたっぷりとお湯を使いたい (毎日継続して沸きあげます)

全量・・・昼間お湯を使ってしまいお湯が不足しそうなときなど (設定した当日1回だけ沸増しを行います)

2. 操作が終わったら必ずふたをしめます

解除の方法

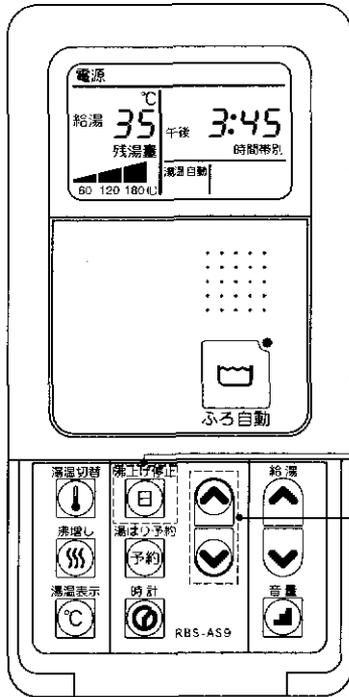
「沸増し」ボタンを押して表示を消灯させます。

項目	こんなとき 毎日湯切れの心配をしないでたっぷりとお湯を使いたい	昼間お湯を使ってしまいお湯が不足しそうなとき
沸増し設定	おまかせ	全量
沸増しのしかた		
沸増しの条件	朝7時から夕方5時の間でお湯を約60L使用すると何回でも沸き増しを行う	設定したときから1回だけ沸き増しを行う
解除の方法	「沸増し」ボタンを押して沸き増しの表示を消灯させる	
備考	夜の間に沸き上らなかったときに継続して約2時間余分に沸き上げを継続する	

沸上げ停止のしかた

※メインリモコンで操作します。

- 旅行などで家を留守にする間のお湯を使用しないときなどは、タンクのお湯の沸き上げを停止することができます。
- 沸き上げ停止日数は、2日から14日まで設定することができます。



設定手順

1. 『沸上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと2の表示が点滅します。



停止日数
2
時間帯別

2. 『▲▼』 ボタンを押します

ボタンを押すと停止日数予約の数字が増え（減り）ます。



停止日数
6
時間帯別

3. 『沸上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと、数字が点滅から点灯に変わり停止日数が決定します。

4. 操作が終わったら必ずふたをしめます

停止日数の決めかた

例) 2月1日に出発して、2月7日に帰宅する6泊7日の旅行の場合
6泊7日

出発日（2月1日）に停止日数予約6を設定する。
1日経過ごとに日数が1日ずつ減っていきます。

●沸き上げ停止の解除のしかた

・沸き上げ停止日数は、次の手順で解除してください。

手順

1. 『沸上げ停止』 ボタンを押します
停止日数が点滅します



停止日数
6
時間帯別

2. 「▲▼」ボタンを押す

ボタンを押して0に合わせます。

3. 『沸上げ停止』 ボタンを押します
ボタンを押すと停止日数が解除されて現在時刻が表示されます。



午後 3:45
時間帯別

その他の解除方法
「沸上げ停止」ボタンを2秒以上の長押しをします。
表示が0に戻り、15秒後には現在時刻が表示されます。

4. 操作が終わったら必ずふたをしめます

使
い
か
た

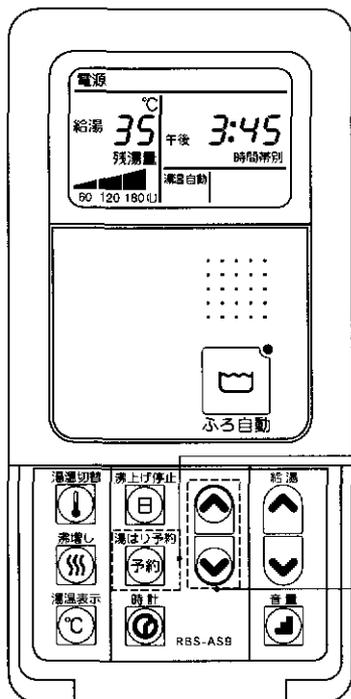
湯はり予約のしかた

※メインリモコンで操作します。

- 湯はり予約を設定すると、予約した時刻にお風呂にはいれるよう、自動的に湯はりを行います。
- 一回予約設定すると、設定時刻は記憶されますので、同じ時刻に予約するとき時刻を再設定する必要はありません。

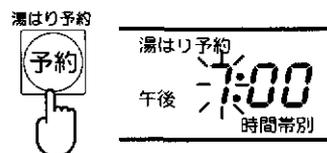
設定手順

(例) ここでは午後5時40分に合わせることで説明します。



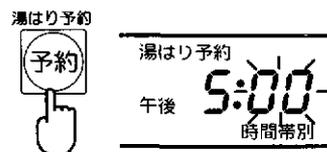
1. 『湯はり予約』ボタンを押します

「湯はり予約」表示が点灯し、初めて設定する場合は「午後7:00」2回目以降の場合は前回設定した時刻が表示され、「時(初回設定は7)」が点滅します。



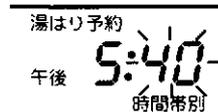
2. 『▲▼』ボタンを押して午後5時に合わせて『湯はり予約』ボタンを押します

「湯はり予約」ボタンを押すと「時」が決定し「分(初回設定は00)」が点滅します。



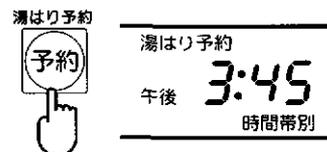
3. 『▲▼』ボタンを押して40分に合わせます

湯はり予約時刻の設定は10分刻みです。



4. 『湯はり予約』ボタンを押します

「湯はり予約」表示、湯はり予約時刻が点灯し設定完了です。表示は10秒後に現在時刻に切り替わります。
※3分以内に「湯はり予約」ボタンを押さないと現在時刻表示に戻り「湯はり予約」は解除されます。



《湯はり予約・解除》

1. 『湯はり予約』ボタンを3秒以上長押しします

「湯はり予約」表示が消灯し、現在時刻表示に戻ります。

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

お願い

1. 「湯はり予約」はお風呂に入る時刻(湯はり完了時刻)の1時間以上前に設定してください。1時間以内に予約した場合は、予約した時刻に湯はりが完了しないことがあります。
2. 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に湯はりが完了しません。
3. 「湯はり予約」は湯はりが開始すると自動的に解除されますので、使用することに予約を設定してください。
4. 「湯はり予約」中に「ふろ自動」ボタンを押すと、「湯はり予約」は解除され、自動湯はり(ふろ自動運転)を行います。
5. 予約は浴槽を洗浄後、予め排水栓を閉めて浴槽に蓋をしておいてください。
6. 2時間以上の停電があると、初期化されますので予約も解除されます。

湯はりのしかた

※浴室リモコン・メインリモコンで操作します。

- ボタンを押すだけであらかじめ設定してある温度・湯量で湯はりをします。
- 湯はり中は、ふる湯はりランプと表示部のバックライトが点灯します。
- 必ず浴槽の湯を排水してから湯はりしてください。お湯が溢れることがあります。
- 湯はり温度は外気温度や配管の長さにより変わります。設定温度は目安としてご使用ください。入浴する際には必ず浴槽の湯温を確認してください。適温で湯はりますが、異常な動作により高温で湯はりし、ヤケドすることがあります。
- 残湯が120L以下になると湯はりできません。(E:22が発生します)
- 湯はり中に120L以下になると湯はりを停止します。(E:22が発生します)

設定手順

1. 『ふる自動』 ボタンを押します

ボタンを押すとふる自動ランプと表示部のバックライトが点灯します。湯はり開始は音声でお知らせします。



「湯はりを始めます。」

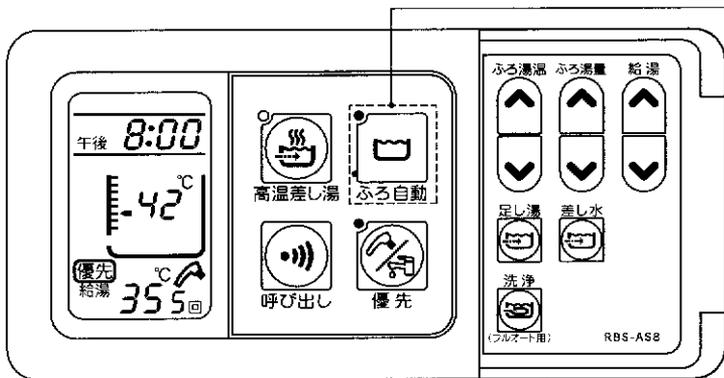
2. 湯はりが完了すると、ブザーと音声でお知らせします

「湯はりが終わりました。」

<ふる湯はりを停止するには>

1. 『ふる自動』のボタンを押します
2. ふる自動ランプと表示部のバックライトが消灯し、ふる自動運転を停止します

「湯はりを止めます。」



メモ

湯はり中、表示部のバックライトは点灯したままとなります。

湯はり中でも蛇口から適温給湯ができます。この商品は、湯はり温度と給湯温度を別々に給湯することができます。湯はり中でもお好みの温度のお湯を使ってください。

専用蛇口により湯はりするとき

ふるアダプターを使用せずに専用蛇口で湯はりする場合にはつぎのことを必ず守ってください。

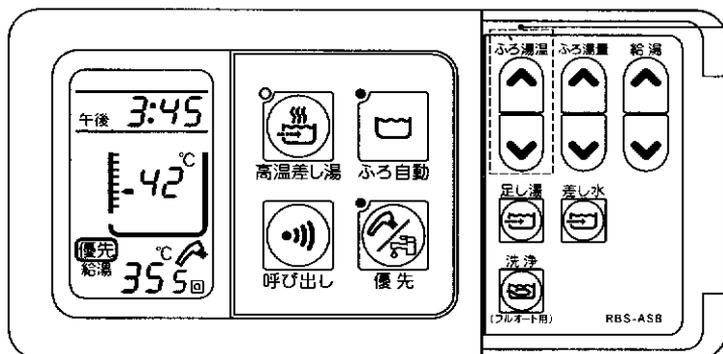
- ・ 専用蛇口を使用する場合は、湯はりするとき必ず湯側全開にして湯はりしてください。
- ・ 専用蛇口は開のままにしておいてください。閉止してしまうと誤動作、エラー発生の原因となります。
- ・ 足し湯、高温差し湯、差し水もこの専用蛇口より行います。
- ・ 湯はりその他の操作を行うときは必ず浴槽のふたは取ってください。
- ・ 高温差し湯するとき、専用蛇口より高温が出ます。ヤケドに気をつけてください。

ふろ湯温の設定のしかた

※浴室リモコンで操作します。

- ふろ湯温は、ふろ湯はりをするとき浴槽の湯はり温度を設定するものです。
- 設定できる温度は、35℃から48℃までの14段階です。
- 本体の設定により初期値は「42℃」になっています。
- ふろ湯温の設定はふろの湯はり完了時の浴槽内の温度ではありません。浴槽内の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの設定は目安としてお使いください。

設定手順



1. 『ふろ湯温』ボタンを押します

⊕ボタンを押すとふろ湯温は1℃ずつ高くなり⊖ボタンを押すと1℃ずつ低くなります。

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

お願い

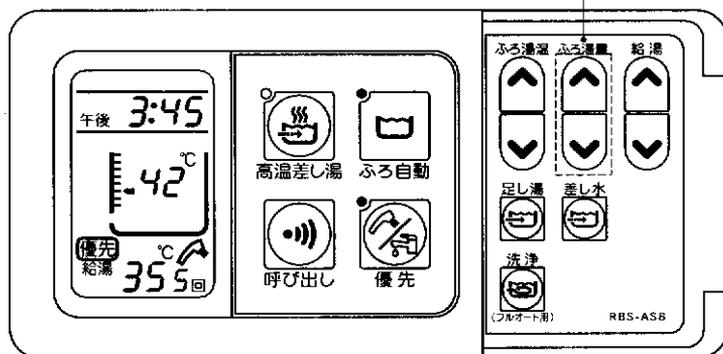
1. 湯はり途中で湯温の変更を行なうと、設定した温度に湯はりできないことがあります。(設定変更したときから変更した温度で湯はりをするからです。)
2. 5分間以上停電があると『ふろ湯はり』は解除されます。また2時間以上停電が続くと時計表示がリセットされ42℃に設定されます。

ふろ湯量の設定のしかた

※浴室リモコンで操作します。

- ふろ湯量は、ふろ湯はりするとき浴槽の湯はり湯量を設定するものです。
- 湯はり量は100L～400Lまで20L刻みに設定ができますが、設定した湯はり量は実際の湯はり量と異なることがあります。湯量の目安として表示しています。
- 本体の設定により初期値は最低湯量(約100L)になっています。
- 水位の矢印は目安として表示しています。

設定手順



1. 『ふろ湯量』ボタンを押します

⊕ボタンを押すとふろ湯量は20Lずつ増え⊖ボタンを押すと20Lずつ減ります。

2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

<水位の矢印の例> 160Lのとき 180Lのとき
 1目盛りが40L相当です。20Lを設定すると矢印が2つです。
 矢印は1つ 矢印は2つ

お願い

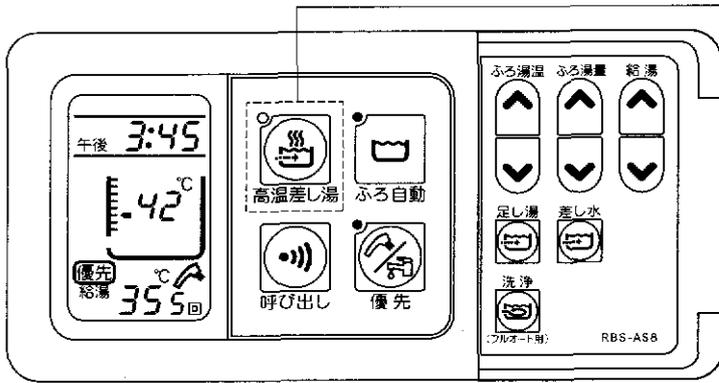
1. 湯はり途中で湯はり量(水位)の変更を行うと、変更した湯量まで湯はりします。
2. 5分間以上の停電があると『ふろ湯はり』は解除されます。また2時間以上停電が続くと、時計表示がリセットされ最低水位に設定されます。

高温差し湯のしかた

※浴室リモコンで操作します。

- 高温差し湯は、入浴中など湯温が下がったときに、短時間で湯温を上げたいときや、あつめのお湯にしたいときに使用します。
- 高温差し湯のボタンを押すと湯はり温度表示が60℃または80℃（ボタンの6秒間長押し）に変更され、ふるアダプターより浴槽内温度を約1.5℃上昇させる分の熱いお湯がでます。
- 高温差し湯は、湯はり中は利用できません。
- 高温差し湯が終了すると湯はり温度表示は湯はり温度に戻ります。
- タンク内の沸き上がり温度が低い場合には60℃または80℃の高温がでません。
- 残湯が60L未満のときは操作できません。（E：22が発生します）

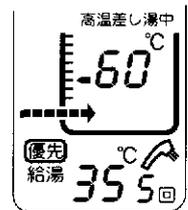
操作手順



1. 『高温差し湯』ボタンを押します

ボタンを押すとふるアダプターから約60℃のお湯が出ます。湯はり量と温度に応じて1回の操作で約1.5℃湯温を高くします。
また、ボタンを約6秒間押し続けると高温差し湯の温度が80℃に切り替わり、ふるアダプターから約80℃のお湯がでます。

高温差し湯中でも他の水栓で適温給湯ができます。



2. 高温差し湯を停止するには

「高温差し湯」ボタンを押します。
表示は湯はり温度設定に戻ります。
※ボタンを押してもすぐには止まりません。適温を給湯して配管内に残った熱い湯を流します。

シャワー回数表示の見かた

※浴室リモコンで表示します。

- タンクに残っているお湯の量を検知してシャワーが何回使用できるかを表示します。
- 残湯の目安としてご使用ください。湯温42℃で40Lを1回として算出しています。（最大表示は5です）
- 季節により使用量が変化します。

使用中に表示が急激に変化することがあります。目安としてお使いください。



表示	シャワー回数
5	約5人以上
4	約4人
3	約3人
2	約2人
1	約1人
0	お湯がありません

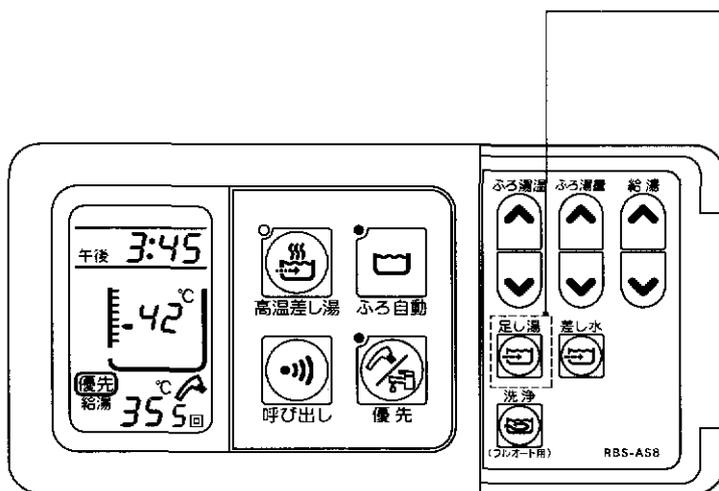
使
い
か
た

足し湯のしかた

※浴室リモコンで操作します。

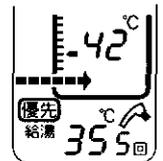
- 足し湯は、たっぷりのお風呂にしたいときに使用します。
- 足し湯ボタンを押すとふろ湯温設定温度のお湯を蛇口より出湯させることができます。
- 足し湯は、いつでも利用できます。ただし、湯はり中は使用できません。
- 残湯が60 L未満のときは操作できません。(E: 22が発生します)

設定手順



1. 『足し湯』 ボタンを押します

ボタンを押すとふろアダプターから設定温度のお湯が約20 Lでます。



2. 足し湯を停止するには

『足し湯』 ボタンを押します

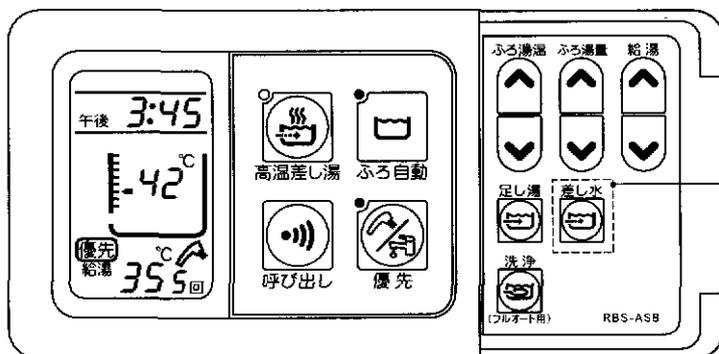
3. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

差し水のしかた

※浴室リモコンで操作します。

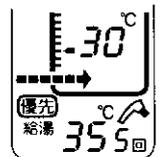
- 差し水は湯温が高く熱い時など湯温を下げたいときに使用します。
- 差し水のボタンを押すと湯はり温度設定表示が「30℃」に変更され、ふろアダプターから約30℃の湯が1℃湯温を下げる量だけでできます。
- 差し水はいつでも利用できます。ただし、湯はり中は使用できません。

設定手順



1. 『差し水』 ボタンを押します

ボタンを押すとふろアダプターから約30℃の湯が出ます。湯はり量と湯はり温度に応じて1回の操作で約1℃湯温を低くします。



2. 差し水を停止するには

『差し水』 ボタンを押します。表示は湯はり温度設定に戻ります。

3. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

給湯温度の設定のしかた

※浴室リモコン・メインリモコンで操作します。

- 台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度をまとめてお好みの温度に設定できます。
- 設定できる温度は30℃～48℃（1℃刻み）、50℃、60℃です。
- 本体の設定により初期値は、浴室リモコンに「優先」があり、「35℃」になっています。

操作手順

1. 『優先』を確認します

メインリモコンおよび浴室リモコンのどちらかに「優先」が表示されます。

● メインリモコンで給湯温度を設定する場合
メインリモコンに「優先」表示が点灯しているか確認してください。

表示が消えているときは浴室リモコンが「優先」となっていますので、浴室リモコンの「優先」ボタンを押して浴室リモコンの「優先」を解除してください。

● 浴室リモコンで給湯温度を設定する場合
浴室リモコンに「優先」表示が点灯しているか確認してください。表示が消えているときはメインリモコンが「優先」となっていますので、浴室リモコンの「優先」ボタンを押して浴室リモコンを「優先」にしてください。



2. 『給湯』ボタンを押します

▲ボタンを押すと給湯温度は1℃ずつ高くなり▼ボタンを押すと給湯温度は1℃ずつ低くなります。50℃、60℃を設定する時には48℃まで湯温を上げたのちに1秒程度まってから「▲」ボタンを2秒以上押すと「50℃」に変わります。さらに続けて押すと「60℃」に変わります。

※他の給湯栓で使用中「50℃」「60℃」に切替えることができません。

3. 操作が終わったらふたを閉めます

「優先」の表示しているリモコンで設定してある給湯温度の湯が蛇口より出湯されます。

使
い
か
た

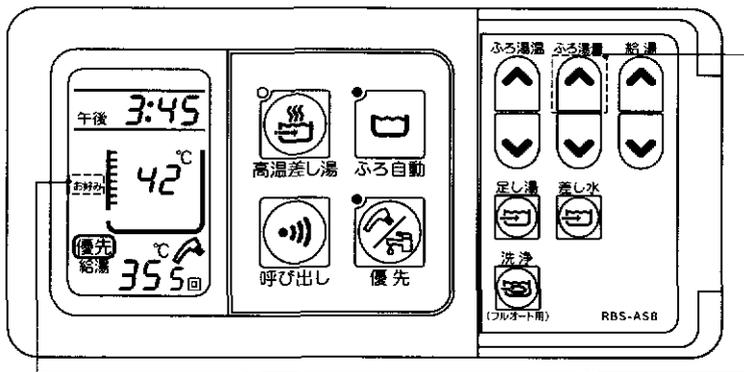
お好みの使いかた

※浴室リモコンで操作します。

- 『お好み』の設定で使用すると、お客様のお好きな水位で湯はりします。
- 『お好み』を使用する場合には、お客様のお好みの水位をあらかじめ設定していただきます。
- 1度設定すれば、解除するか、停電等で初期リセットがかかるまでお客様が設定した湯量で湯はりをします。
- 設定中に停電が発生すると設定中は解除され初期の状態にもどります。

操作手順

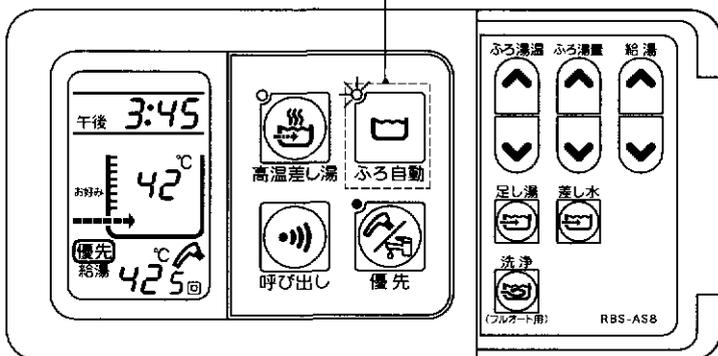
《お好み水位の設定》



1. 『ふる湯量』ボタンの『^』を押し続けます

押し続けて湯量表示を『400L』まで変化させます。さらに2秒以上ボタンを押し続けます。

2. 湯量表示が消灯し、『お好み』表示が点灯します



3. 『ふる自動』ボタンを押します
ボタンを押すとふる湯はりランプが点滅し湯はりを開始します。この時、湯はり量を計算していますので、他のカランからお湯を入れしないでください。お湯を入れると湯はり量が正確に検知できません。

また、設定してから約10秒以内に湯はりを始めないと『お好み』を自動解除します

4. お好みの湯量になったら『ふる自動』ボタンを押します

『ふる自動』ボタンを押して停止すると、ふる自動ランプも消灯します。これで設定は完了です。湯はりを止めないとお湯はいつまでも出続けます。

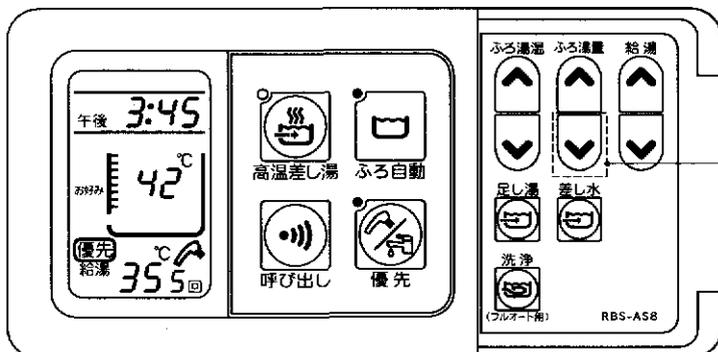
「お好み」の水位になったら「ふる自動」ボタンを押してください。止めないとあふれます。

《使いかた》

『湯はりのしかた』と同じように使用します。このページを参照してください

(←16ページ)

《お好み設定解除》



1. 『ふる湯量』ボタンの『v』を2秒以上の長押しをします

押し続けると『お好み』表示が消灯し、最低水位で設定されます。

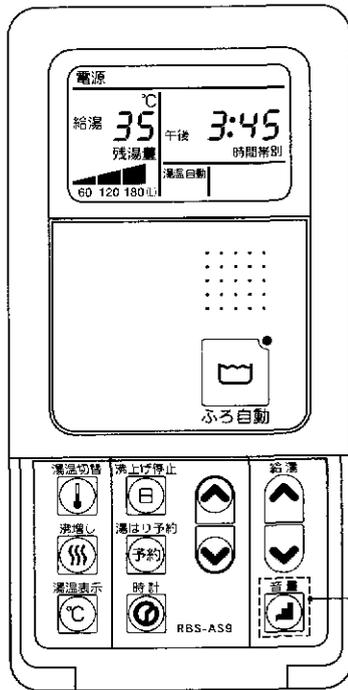
2. 『ふる湯量』ボタンの『^』『v』を押して適量に設定します

3. 操作が終わったら必ずふたを閉めます。

音量の調節のしかた

※メインリモコンで操作します。

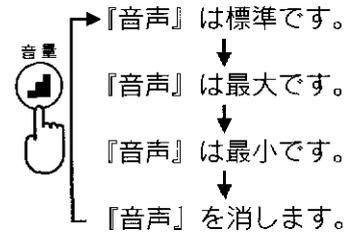
- メインリモコンの音声案内の音量を調節したいときに使用します。
- 音量の調節は、音声案内中以外であればいつでも行えます。



設定手順

1. 『音量』 ボタンを押します

ボタンを押すごとに声の大きさを音声でご案内します。



2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

異常を知らせる音声は消すことができません。ブザー音は消すことができませんが午後9:00～午前9:00の間は自動的に消音します。

使
い
か
た

呼び出しボタンの使い方

※浴室リモコンで操作します。

- 呼び出しブザーは、浴室リモコンから離れたところにあるメインリモコンのブザーを鳴らすことができます。
- ボタンを押すと、メインリモコンのブザーが約10秒間鳴ります。
- ご家庭内で呼び出し用としてご利用ください。

操作手順

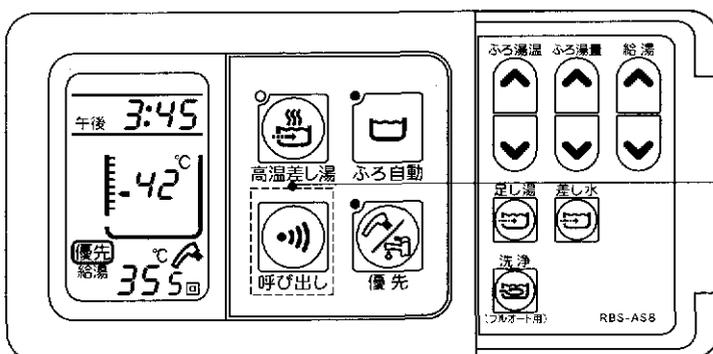
1. 『呼び出し』 ボタンを押します

ボタンを押すとメインリモコンのブザーが約10秒間鳴ります。



《呼び出し音を停止するには》

- メインリモコンのいずれかのボタンを押します。



非常用水の取りかた

- 非常用取水コックは、万一の災害による断水時にタンクのお湯（水）を生活用水として利用できるようにしたものです。
- 非常時以外は使用しないでください。

警告

非常用水は、熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意すること

最初は水がでてきますが、熱湯がでてくる場合があります。



やけど

非常用水の採水時はバルブ本体に手を触れないこと
本体が熱くなりやけどをすることがあります。



やけど

注意

飲用しないこと

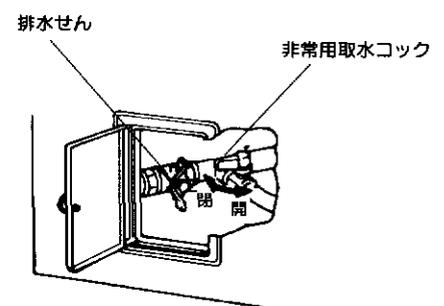
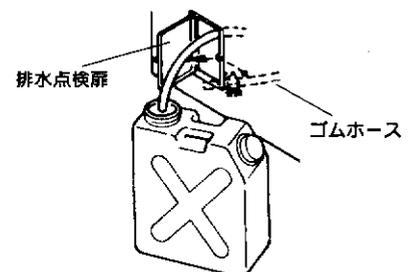
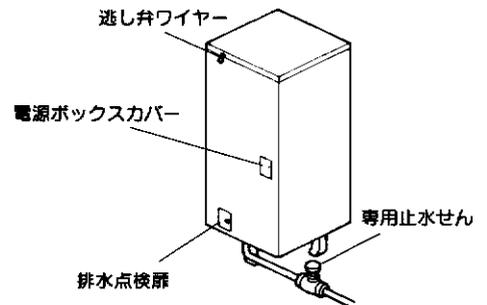
水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。



飲用禁止

1. 非常用水の取りかた

- (1)電源ボックスカバーを開き漏電遮断器を「切」にします。
- (2)専用止水せんを開きます。
- (3)排水点検扉を開き、内部のゴムホースを引き出しポリタンク等に導きます。
- (4)非常用取水コックを「開」にします。（排水せんは開かないでください。）
- (5)逃し弁ワイヤーを引きます。
- (6)必要量の非常用水が取れたら逃し弁ワイヤーを離し、非常用取水コックを「閉」にします。
- (7)ゴムホースを元に戻し、先ほど開いた扉をすべて閉じます。



コックを開いてすぐは汚れた水が出ますのできれいになってからご使用ください。

2. 通常運転への戻しかた

- (1)専用止水せんを開きます。
- (2)給湯せん開き、3分以上連続して給湯せんから水が出るようになったら閉めます。
(給湯せんから水が出ても、配管内に空気がたまっている場合がありますので、必ず連続して水が出るようになるまで給水を続けてください。)
- (3)漏電遮断器を「入」にします。

お願い

一日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

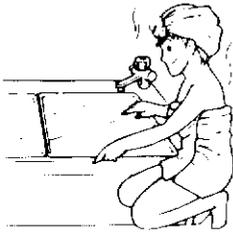
●お湯は容器に受けて使ってください

流し洗いは、お湯不足の原因になります。



●お風呂のふたは

浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。



●浴槽の「排水せん」の確認を忘れずに

- 湯はりするときは、必ず浴槽の「排水せん」をしてください。
- 湯はりができず湯切れの原因となります。
- 残り湯は、必ず全部排水してください。
次に湯はりするときに、湯が溢れたり、湯温がぬるい原因となります。

●配管保温機能が動作しています

- 湯はり終了後1時間に2回、自動的に湯はり用配管の保温のため、ふろ湯はり温度のお湯を1Lずつ給湯します。
足し湯、差し湯の最初の冷たい水が出るのを緩和します。

●来客があるときは

前日に湯温切替ボタンを押して「最高」に切り替えておきます。（「自動」のとき）



●入浴時間は

夜間の通電時間前にすませるようにしてください。
通電時間中にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します



●湯はりはお湯が沸いてから

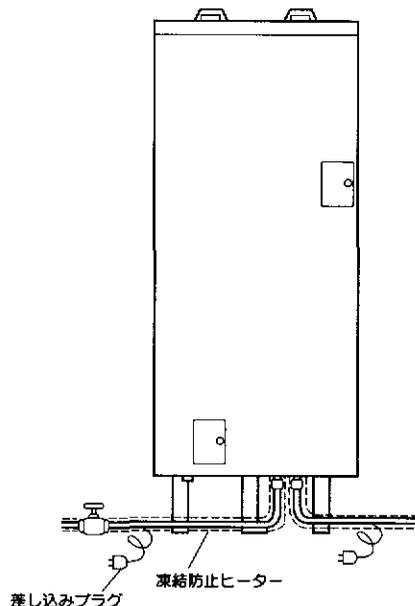
- 湯が沸き上がっていないと湯はりができません。

使
い
か
た

凍結防止について

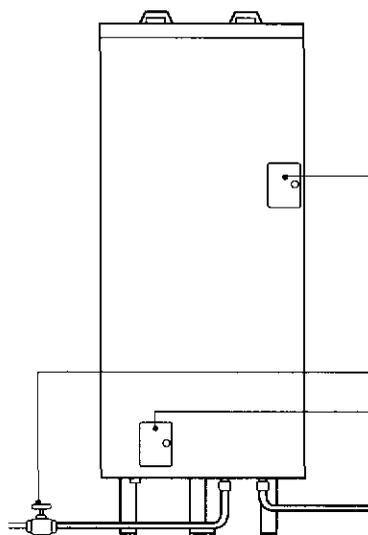
1. 凍結防止ヒーターによる方法

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので施工説明書どおりの配管工事をしてください。
- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100ボルトのコンセントに差し込んでください。暖かくなりましたら、プラグをコンセントから抜いてください。



長期間お使いにならないとき

- 1ヶ月以上お使いにならないときには、次の手順に従って排水を行ってください。
タンクの水は変質するおそれがあるので全部排水してください。



1. 漏電遮断器のレバーを2つ (560Lは3つ) とも切りにします。
2. 専用止水せんを閉めます。
3. 給湯せんを開けます。
4. 排水せんを開けます。
排水のしかた8ページにより排水をします。
5. 排水できない場合には逃し弁ワイヤーを引いてください。

安全点検、お手入れのしかた

事故を防止するために下記の安全点検を必ず行ってください。

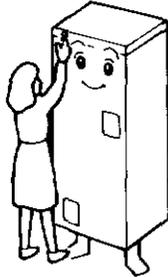
⚠ 注意

逃し弁を点検すること

点検しないとタンクや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



動作点検

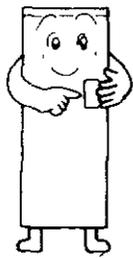


電源ボックスカバーは閉じておくこと

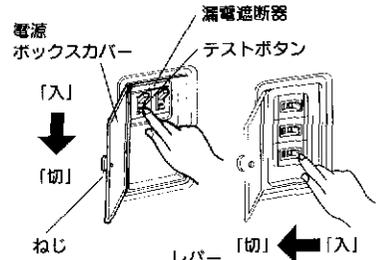
ショート・感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検・操作の後は必ずねじを締めてください。



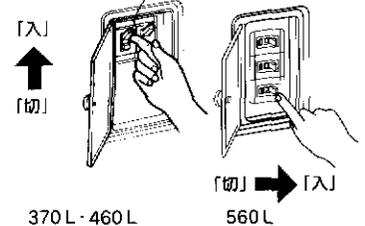
確実に閉じる



(2)電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。漏電遮断器のレバーが「切」(OFF)になれば、正常です。



(3)テストのあとは、必ずレバーを「入」(ON)にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじを締めてください。



2 逃し弁の動作確認を

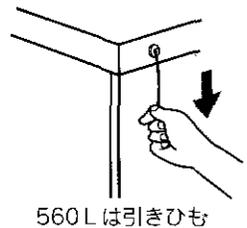
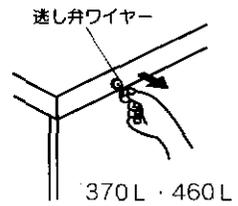
⚠ 警告

逃し弁点検時は、排水管に手を触れないこと

やけどをすることがあります。

月に1度、逃し弁ワイヤーを2～3回引いて動作をチェックしてください。

- ワイヤーを引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。(排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください)



560Lは引きひも

安全点検

1 漏電遮断器の動作確認を

⚠ 警告

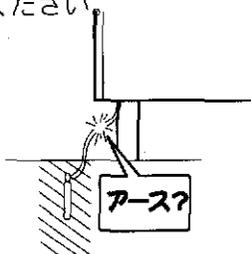
漏電遮断器の動作を確認すること

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

- 1か月に1回は、漏電遮断器の動作確認を通电時間内に、つぎのように確認してください。

(1)アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。



- 逃し弁の弁部に水アガの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

安全点検、お手入れのしかた
長期お使用に
凍結防止に
ついては
お取り扱い
のしかた
をご覧ください。

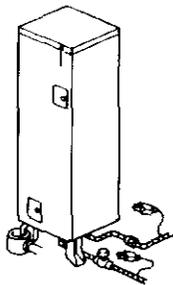
安全点検、お手入れのしかた (つづき)

3 寒冷地では凍結防止を

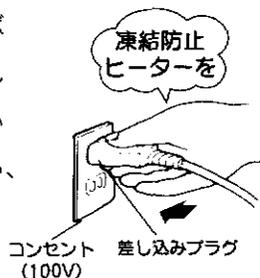
⚠️ 注意

凍結防止対策を確認すること
配管が破損してやけどをすることがあります。

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしているも凍結のおそれがありますので施工説明書に従い、保温工事をしてください。



- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



4 水漏れの点検を

⚠️ 注意

水漏れを点検のこと

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常確認してください。

- 電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認してください。



お手入れのしかた

1 ストレーナーの掃除

● 販売店に依頼して掃除を行ってください。湯および水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。

ストレーナーの掃除を行うときは次の手順に従って行ってください。手順を守らないとストレーナー部からタンクのお湯が出てきます。

《手順》

(1) 高温差し湯80℃で約1分間、給湯温度60℃で約1分間給湯します。

(2) 専用止水栓を閉じます。

(3) 給湯温度を30℃に設定し、差し水ボタンを押します。

(4) 電気温水器用の配線用遮断器を「切」にします。

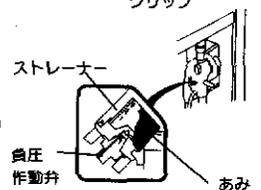
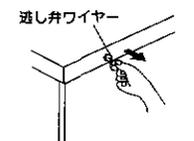
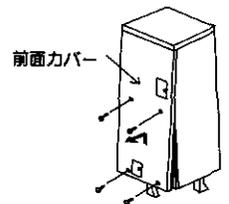
(5) 前面カバーのネジ4本をはずし、前面カバーを取りはずします。

(6) 逃し弁ワイヤーを約1分間引きタンク内の圧力を抜きます。

(7) 給湯口部に付いている負圧作動弁排水ホースを二つ折りにしてターンクリップ等で閉止します。

(8) 減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除します。(水を流しながらブラシ等でよく洗います。)この時、配管内に残っている残水が出てきますのでヒーターやその周辺のコネクター等に湯(水)がかからないように注意してください。

(9) ストレーナーを組み付け、専用止水栓を開きます。水漏れがない事を確認してから前面カバーを取り付けてください。



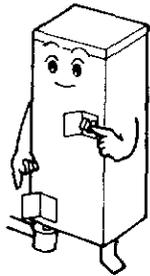
2 お使いにならないとき

- 長期間お使いにならないとき

⚠️ 注意

1か月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をすること水質が変化することがあります。

- 「排水のしかた」は9ページをご覧ください。
- 再びご使用になるときは、9ページの「給水のしかた」によりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。
- 翌日、ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気がでますので、やけどに注意してください。



3 タンク内の掃除を



タンクの熱湯排水は直接しないこと

やけどをすることがあります。タンク内の掃除をするときは、一度湯はりをした後に行ってください。

使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまりまます。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず1か月に1回はつぎの手順で排水口から水あかなどを出してください。

タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

(1)漏電遮断器のレバーを「切」にします。(図1)

(2)専用止水せんを閉じます。(図2)

(3)排水点検扉をあけ、排水せんを開きます。(図3)

(4)逃し弁ワイヤーを約2分間引きます。(図4)

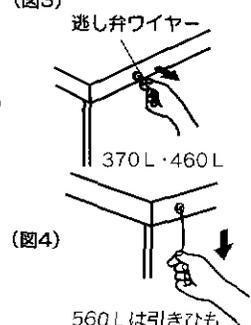
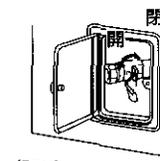
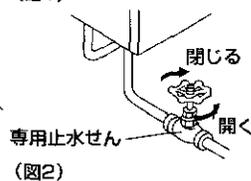
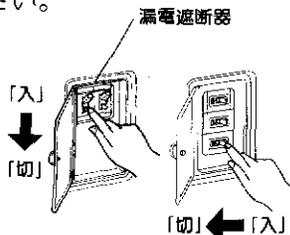
(5)よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じ、排水点検扉を閉めます。(図3)

※お湯が出てくる場合がありますので、ご注意ください。

(6)排水が終了したら専用止水せんを開きます。(図2)

(7)排水口に水が出てくるまで逃し弁ワイヤーを引きます。(見えないときは音で確認してください) (図4)

(8)漏電遮断器のレバーを「入」にします。



4 断水、近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。濁った水が減圧弁のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 解除されたら専用止水せんおよび給水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから電気温水器を使用してください。

5 過圧防止弁について

- 過圧防止弁排水口より水（または湯）が漏れている場合は、配管システムまたは温水器に異常があります。漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。お買いあげの販売店に連絡して修理を受けてください。



6 リモコンの掃除の仕方

リモコンの表面が汚れたときは水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。※洗剤およびシンナー・ベンジン等は使用しないでください。

定期点検のおすすめ

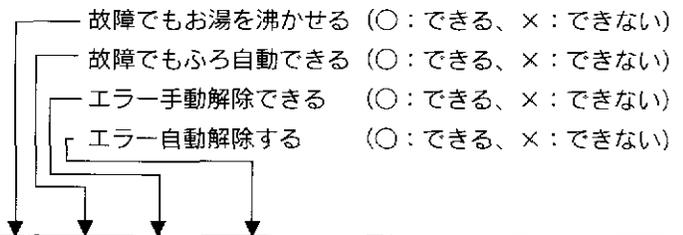
電気温水器を長時間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換をいたします。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

安全点検お手入れのしかた

エラーの表示と処理のしかた

※メインリモコン・浴室リモコンの両方に表示されます。

- この電気温水器には異常時の自己診断機能があります。
- 現在時刻表示部に次の表示が出ているときは下の表に基づいて点検およびお買い上げ店に修理の依頼を行ってください。



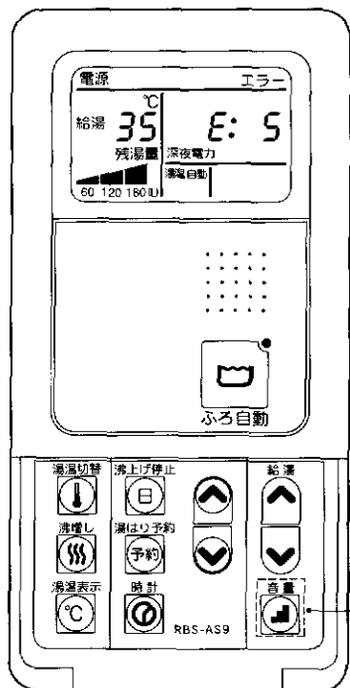
表示	原因	故障箇所・原因	タンク沸上げ	ふろ湯はり	エラー解除		対処方法
					手動	自動	
E: 1	サーミスタ故障	水温湯温センサー	○	○	×	○	・センサーの確認 ・回路の断線開放確認 ・お買い上げ店に修理の依頼をしてください。
E: 2	〃	残湯180Lセンサー	○	○	×	○	
E: 3	〃	残湯120Lセンサー	○	○	×	○	
E: 4	〃	残湯60Lセンサー	○	○	×	○	
E: 5	深夜電力24時間停電	温水器側の電源投入が24時間中1度もなかった。	○	○	○	○	・停電 ・タイムスイッチ不良 ・漏電遮断器 ・引込み配線の断線 ・PC板コネクターの確認
E: 6	深夜電力2時間以上停電	2時間以上の停電ありで沸上がらない	○	○	○	○	・タイムスイッチ ・漏電遮断器 ・長時間の停電
E: 9	交信異常	リモコンと交信せず	○	×	○	○	・本体基板不良
E:22	湯切れ	タンク内残湯60L未満	○	×	○	○	・タンク内の残湯確認
E:27	湯はり完了せず	60分で180L未満までしか湯はりできず	○	×	○	×	・専用止水せん確認 ・減圧弁ストレーナ確認 ・簡易ホッパー確認 ・水圧確認
E:28	湯はり温度低い	給湯している温度が30℃以下で低い	○	×	○	×	・ミキシング不良 ・沸き上げ温度低い ・センサー不良
E:29	湯はり温度高い	給湯している温度が(設定+10℃)以上	○	×	○	×	・ミキシング不良 ・センサー不良
E:Hc	タンク温度異常	タンク内温度が95℃以上	×	○	○	×	・水温、温度センサーの不良 ・本体PC板の不良 ・本体リレー故障
E:HP	タンク圧力異常	タンク内圧力350kPa以上	×	○	○	×	・本体PC板の不良 ・逃し弁不良
H: 1	流量センサー不良 簡易ホッパー不良	流量検知できず	○	×	○	×	・流量センサーの確認 ・給水電磁弁ONせず ・ハーネス断線・短絡
H: 3	給水電磁弁・流量センサー(簡易ホッパー)不良	給水電磁弁がONしていないのに流量検知	○	×	○	×	・流量センサー不良 ・給水電磁弁不良(オープン)
H: 4	ふろサーミスタ不良	正常値検知せず	○	×	×	○	・センサー ・ハーネス断線・短絡
H: 5	給湯サーミスタ不良	正常値検知せず	○	○	×	○	・センサー確認 ・ハーネス断線・短絡
H: 6	ふろ電動ミキシングバルブ不良	正常値検知せず	○	×	○	○	・電動ミキシングバルブの確認 ・ハーネスの色・断線確認
H: 7	給湯電動ミキシングバルブ不良	正常値検知せず	○	○	○	×	・電動ミキシングバルブの確認 ・ハーネスの色・断線確認

エラー解除のしかた

※エラーの解除は、メインリモコン・浴室リモコンの両方で行えます。

- リモコンの表示部にエラー表示した際には手順に従って解除してください。
- エラーには、解除できるものとできないものがあります。『エラーの表示と処理のしかた』をご覧ください。

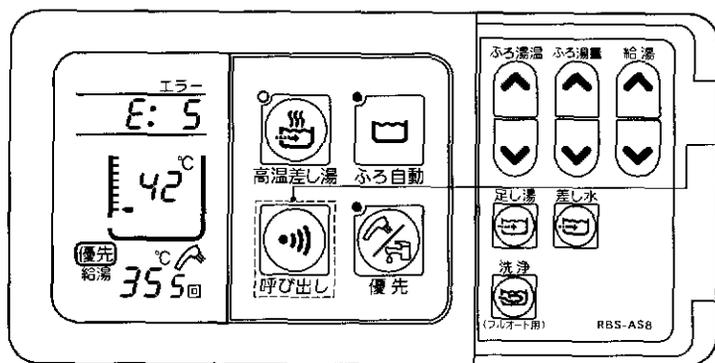
1. メインリモコンで解除するとき



操作手順

1. 『音量』ボタンを3秒間押し続けます
ボタンを長押しするとエラーの表示が消灯し、現在時刻に戻ります。
2. 操作が終わったら必ずふたを閉めます

2. 浴室リモコンで解除するとき



手順

1. 『呼び出し』ボタンを3秒間押し続けます
ボタンを長押しするとエラーの表示が消灯し、現在時刻に戻ります。

このようなときには 修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	直 し か た
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水圧が低いのですか。 ● 専用止水せんは開いていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水圧の確認を水道局へ依頼する。 ● 閉じていたら、開いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 断水ではありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水道局へ問い合わせてください。 (断水が終わるまで待ってください)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 減圧弁のストレーナー部が詰まっていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 27ページの「ストレーナーの掃除」によりお手入れを依頼してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 配管部分が凍結していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お買いあげの販売店にご相談ください。
お湯が沸かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線用遮断器が「切(OFF)」になっていませんか。 ● 漏電遮断器のレバーが「切(OFF)」になっていませんか。 <p>※必ず2つとも(560Lは3つ)「入」にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「切(OFF)」になっているときは、「入(ON)」にしてください。 <p>※2度、3度と「切(OFF)」になる場合は故障のおそれがありますので、お買いあげの販売店にご相談ください。</p>
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯温切替は適当ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上のランクへ切替えてください。 (例えば 自動 → 最高)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 翌日までお待ちください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● いつもくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● タンクへの給水温度が15℃未満ではありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯温切替 最高 のとき、お湯がなく、水温が15℃未満のときは90℃まで沸き上がりません。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 逃し弁の逃し管から昼間お湯が流れていませんか。 <p>〔沸増し中は昼間でも逃し管から膨張水が排水されます。〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 26ページの「逃し弁の動作確認を」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ● お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
濁ったお湯が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水がきれいになったのを確認してから電気温水器をお使いください。 28ページの「断水・近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内の掃除をしていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 28ページの「タンク内の掃除を」によりタンク内の掃除をしてください。

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令(安衛法)令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』(以下安衛法)が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の『100kPa以下』から『200kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

安衛法の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

簡易ボイラー：安衛法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。

設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積40kW以下・水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器です。安衛法が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。

取説記載対象形名：

AUS-37M1K

AUS-46M1K

AUS-56M1K

※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

●設置報告

事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

●定期自主検査

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

●特別教育

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。

●事故報告

高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業者様へのご案内

事業所設置の際の規定事項

設置報告

■適用法令→ポイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ポイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ポイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がある。事業者は、小型ポイラー設置報告書に構造図※1及び小型ポイラー明細書※2並びに小型ポイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面※3を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ポイラーを同一事業所内で移動した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ポイラー設置報告書の提出が必要になります。

- ※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置図けを行なってください。
- ※2 事業所内での小型温水ポイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査

■適用法令→ポイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型温水ポイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体	<ul style="list-style-type: none"> ・製品本体からの漏れの有無 ・差し井の動作状態および漏れの有無 ・漏電遮断器の動作状況 ・タンクの手入れ
配管	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の(26~28ページ)「安全点検、お手入れのしかた」を参照してください。

なお、自主検査を行なった後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育

■適用法令→ポイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型温水ポイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行なってください。

特別教育の科目

- ① ポイラーの構造に関する知識
- ② ポイラーの付属品に関する知識
- ③ 関係法令
- ④ 小型ポイラーの運転及び保守
- ⑤ 小型ポイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目の全部又は一部については十分に知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。

同梱の取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行なってください。

事故報告

■適用法令→労働安全衛生規則第96条

事業者様は、小型ポイラーの破裂の事故などが発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

(1) ポイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条 事業者は、小型ポイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ポイラー設置報告書(様式第26号)に機械等検査規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ポイラー明細書(同規則第4条の台格の印が押されているものに限る。)並びに当該小型ポイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条 事業者は、小型ポイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ポイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。

- (1) 小型ポイラーにあつては、ポイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
- (2) 小型圧力容器にあつては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は摩耗の有無
- 2 事業者は、前項ただし書の小型ポイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号に掲げる事項について自主検査を行なわなければならない。
- 3 事業者は、前2項の自主検査を行なったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条 1 事業者は、小型ポイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。

2 前項の特別の教育は、次の科目について行なうものとする。

- 1 ポイラーの構造に関する知識
- 2 ポイラーの付属品に関する知識
- 3 燃料及び燃焼に関する知識
- 4 関係法令
- 5 小型ポイラーの運転及び保守
- 6 小型ポイラーの点検

3 安規則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施については必要な事項は、労働大臣が定める。

(2) 労働安全衛生規則

事故報告

第96条 1 事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

(1~2略)

- 3 小型ポイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき
(以下略)

高圧力型電気温水器(小型温水ポイラー)に適用される法令として以下のものがあります。

- 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)
- 労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)
- 労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)
- ポイラー及び圧力容器安全規則(昭和47年労働省令第33号)

仕様 (セミオート)

形名		AUS-37M1K	AUS-46M1K	AUS-56M1K
項目		高圧力型電気温水器		
		防雨形		
		マイコン節電タイプ		
適応料金制度		時間帯別電灯/深夜電力(通電制御)切替式		
タンク容量		370L	460L	560L
定格	温水器	単相200V-4.4kW	単相200V-5.4kW	単相200V-6.4kW
	制御	AC200V-7W		
	周波数	50/60Hz共用		
タンク沸上り温度		自動:約75~90℃(水温により可変) 最高:約90℃		
給湯温度		約30~48.50.60℃		
質量(満水時)		69kg(439kg)	78kg(538kg)	88kg(648kg)
形状		角形配管内蔵(減圧弁・逃し弁・ふる給湯機能内蔵)		
外形寸法	幅	700mm	700mm	700mm
	奥行き	700mm	800mm	800mm
	高さ	1800mm	1800mm	2100mm
安全装置		自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電遮断器・過圧防止弁・異常過圧防止		
配管口径		給水・給湯・排水:R3/4(おねじ) ふろ:R1/2(おねじ)		
配管方式		減圧弁方式(2次設定圧力:150kPa)		
ふる給湯機能	ふる湯はり	湯はり温度設定:35~48℃(1℃刻み14段階) 湯はり量設定:100~400L(20L刻み16段階)・お好み		
	高温差し湯	60℃又は80℃の高温の湯で浴槽温度を約1.5℃上昇するまで差し湯する		
	足し湯	設定温度のお湯をふるアダプターから約20L給湯する		
	差し水	30℃の湯で浴槽温度を約1℃低下するまで差し水する		
浴槽の目安		120~450L		
用途		セントラル給湯		
		2~3人家族用	3~4人家族用	4~5人家族用
メインリモコン	操作	ふる自動・タンク湯温調節・タンク沸増し・タンク湯温・沸上げ停止日数予約・ 現在時刻合わせ・音量調節・湯はり予約・給湯温度調節		
	表示	電源・沸上げ中・湯切れ・エラー・給湯・高温・タンク湯温表示・沸上げ停止日数・ 現在時刻・エラーコード・電力制度(深夜電力・時間帯別)・沸増し(全量・おまかせ) ・ふる自動ランプ・残湯量(60L・120L・180L)・給湯温度・湯はり予約・優先		
浴室リモコン	操作	ふる自動・高温差し湯・呼び出し・ふる湯温・ ふる湯量・足し湯・差し水・優先・給湯温度調節		
	表示	エラー・湯はり温度・湯はり量・現在時刻・エラーコード・高温差し湯中・ 湯はり水位・お好み・湯はり矢印・給湯・高温・給湯温度・シャワー回数・ 高温差し湯ランプ・ふる自動ランプ・優先・優先ランプ・湯はり予約		

仕様
事業者様へのご案内

保証とアフターサービス

1

保証について

必ず「販売店（工事店）」「据付日」などをご確認のうえ保証内容をよくお読みいただき大切に保存してください。

2

保証内容について

- 保証期間は据付日から2年間です。
- 正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとづき「無償修理」いたします。
- 無償期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

3



点検と修理について

- 少しでもご不審の点がありましたら、販売店または当社指定のサービス店に点検・修理を依頼してください。
- 本品をより長くご使用いただくため、据付後、定期的な点検をご依頼ください。

4

補修用部品の最低保有期間について

- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後最低7年間（BL品は10年）保有しています。なお補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5

部品の交換時期のめやす

- 温水器の部品の寿命は、沸き上がり温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。

部品名	補修期間のめやす	補修方法	補修の必要性
ヒーター	5～8年	交換	通電時間や水質によって性能が低下することがあります。
フランジパッキン	5～8年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシール性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
逃し弁	3～5年	交換	
減圧弁	5～8年	交換	
温度過昇防止器	5～8年	交換	長期間の使用により、金属疲労が生じ接触部が損耗することがあります。
温度調節器	5～8年	交換	
電磁接触器(リレー)	5～8年	交換	
タンクの過圧防止弁	3～5年	交換	水中のスケールやゴミが付着し水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
自動給湯部品 (電動弁類等)	5～8年	交換	長期間使用すると、水中のスケールによって水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
配管保温材	3～5年	補修	太陽の紫外線によって劣化することがあります。

積水化学工業株式会社

住設事業部 大阪市北区西天満2-4-4 〒530-8565

仙台住宅資材営業所	仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル) 〒980-6060 ☎022(267)3301	神戸営業所	神戸市中央区御幸通7-1-15(三宮ビル南館) 〒651-0087 ☎078(251)6639
東京住宅資材営業所	東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー) 〒105-8450 ☎03(5521)0653	広島住宅資材営業所	広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル) 〒730-0017 ☎082(224)6261
関東住宅資材営業所	大宮市桜木町1-7-5(ソニックシティビル) 〒331-0852 ☎048(646)0165	岡山営業所	岡山市中山下1-8-45(NTTクレド岡山ビル) 〒700-0821 ☎086(222)0651
横浜住宅資材営業所	横浜市西区北幸1-4-1(天理ビル) 〒220-0004 ☎045(311)6667	松江営業所	松江市朝日町477-17(明治生命松江駅前ビル) 〒690-0003 ☎0852(26)6800
新潟営業所	新潟市東大通1-2-23(北陸ビル) 〒950-0087 ☎025(244)9261	山口営業所	山口県吉敷郡小郡町高砂町2-7(朝日生命小郡ビル) 〒754-0014 ☎083(972)6877
長野営業所	長野市南石堂町1277-2(長栄第2ビル) 〒380-0824 ☎026(226)6510	高松支店	高松市寿町1-3-2(第一生命ビル) 〒760-0023 ☎087(822)1011
松本営業所	松本市中央1-4-20(日本生命松本駅前ビル) 〒390-0811 ☎0263(33)3931	松山営業所	松山市千舟町4-5-4(住友生命松山千舟町ビル) 〒790-0011 ☎089(931)3261
静岡営業所	静岡市南町18-1(サウスポット静岡) 〒422-8067 ☎054(289)6052	福岡住宅資材営業所	福岡市中央区天神1-1-1(アクロス福岡) 〒810-0001 ☎092(725)9280
名古屋住宅資材営業所	名古屋市中村区名駅1-1-4(JRセントラルクワーズ) 〒450-6115 ☎052(583)6115	大分営業所	大分市都町1-2-19(大分都町第一生命ビル) 〒870-0034 ☎097(536)4131
大阪住宅資材営業所	大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル) 〒530-8565 ☎06(6365)4301	宮崎営業所	宮崎市吉村町久保田922-1 〒880-0841 ☎0985(22)8115
北陸支店	金沢市本町2-15-1(ホルテ金沢ビル) 〒920-0853 ☎076(231)4461	南九州営業所	鹿児島市鴨池新町6-6(鴨池南国ビル) 〒890-0064 ☎099(258)4511
京都営業所	京都市下京区四条通烏丸入長刀鉾町20番地(四条烏丸FTスクエア) 〒600-8008 ☎075(211)8463		